

平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月15日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テイン
 コード番号 7217 URL <http://www.tein.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 定時株主総会開催予定日 平成26年6月18日
 有価証券報告書提出予定日 平成26年6月18日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 市野 諒
 (氏名) 那須 賢司
 配当支払開始予定日

TEL 045-810-5511
 平成26年6月19日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期の連結業績(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	3,249	17.3	174	—	244	434.7	193	470.1
25年3月期	2,769	△0.7	△3	—	45	—	33	—

(注) 包括利益 26年3月期 216百万円 (302.6%) 25年3月期 71百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年3月期	37.29	—	7.5	5.9	5.4
25年3月期	6.54	—	1.4	1.4	△0.1

(参考) 持分法投資損益 26年3月期 一百万円 25年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期	5,038	2,671	53.0	514.45
25年3月期	3,284	2,486	75.7	478.77

(参考) 自己資本 26年3月期 2,671百万円 25年3月期 2,486百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年3月期	202	△776	1,449	1,560
25年3月期	165	△1,262	0	583

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
25年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00	31	91.7	1.3
26年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00	62	32.2	2.4
27年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00		51.6	

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,486	7.3	224	28.9	216	△11.4	151	△22.0	29.10

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 天御減振器製造(江蘇)有限公司、除外 1社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期	6,652,250 株	25年3月期	6,652,250 株
② 期末自己株式数	26年3月期	1,458,450 株	25年3月期	1,458,450 株
③ 期中平均株式数	26年3月期	5,193,800 株	25年3月期	5,193,800 株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成26年3月期の個別業績(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	3,042	18.4	199	776.9	266	296.7	197	325.8
25年3月期	2,569	△0.8	22	—	67	794.5	46	443.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期	37.98	—
25年3月期	8.92	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
26年3月期	4,920		2,575		52.3	495.83		
25年3月期	3,198		2,409		75.3	463.85		

(参考) 自己資本 26年3月期 2,575百万円 25年3月期 2,409百万円

2. 平成27年 3月期の個別業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 経営方針	4
(1) 会社の経営の基本方針、中長期的な経営戦略	4
(2) 目標とする経営指標	4
(3) 会社の対処すべき課題	4
(4) その他、会社の経営上重要な事項	4
3. 連結財務諸表	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. その他	13
(1) 役員の変動	13
(2) その他	13

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

(当期の業績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策等を背景に円高是正や株価上昇が進み、新興国経済の継続的な成長や米国を中心とした先進国の緩やかな回復傾向なども背景として比較的順調に推移いたしました。一方で、ウクライナ情勢の混迷や消費増税による消費への反動懸念など、依然として先行きは不透明な状況にあります。

カーアフターマーケットにおきましては、前述の経済の先行き不透明感などを背景に消費者の低価格志向が依然として強い中、新車販売の増加に牽引されるように消費に力強さも見え始めました。しかしながら、多機能、高品質、リーズナブルな価格など価値観の多様化といったユーザーのニーズに適合し、さらなる付加価値の向上を図った製品やサービスの提供が不可欠となっております。

このような情勢のもと、当社グループにおきましては、国内では2013年1月に販売を開始した「STREET FLEX」のラインアップ拡充や、同時期に発売した「EDFC ACTIVE」の様々な機能の一部をユーザーが体感できるデモキットや販売促進用の10インチモニターを店頭に設置し、合わせてユーザーや代理店向けの各種キャンペーンを継続的にこなってまいりました。2014年1月には、従来型「EDFC」（車内からショックアブソーバーの減衰力調整が可能な装置）を進化させた「EDFC ACTIVE」に、さらなる新機能を追加した「EDFC ACTIVE PRO」と、量産ショックアブソーバーでは世界初の構造を持つ「MONO SPORT」の販売を開始し、国内最大のアフターマーケット用品のイベントに出展するなど、新たな付加価値の提案と需要の掘り起こしに力を注いでまいりました。これらの新製品とイベント効果に加えて消費増税前の駆け込み需要もあり、国内売上は期末に向けて好調に推移いたしました。

海外市場においては、子会社および現地販売会社との緊密な連携、また各地の代理店への営業強化と現地での諸施策が奏功し、欧州など一部の地域を除いて概ね好調に推移しましたが、多くの地域で安価な競合品が広く流通しており引き続き苦戦を強いられております。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高3,249百万円（前期比479百万円、17.3%増）と、前連結会計年度と比較して増収となりました。

損益の面においては為替動向の影響などもあって経常利益は244百万円（前期比198百万円、434.7%増）となりました。また、本社移転に伴う各種の費用等があったものの法人税等調整額の計上によって当期純利益は193百万円（前期比159百万円、470.1%増）となりました。

(次期の見通し)

今後の経営環境につきましては、内外の経済情勢などを背景とした急激な為替の変動、特に国内では原油価格の高騰や電気料金の値上げに伴う原価の上昇や消費増税による消費への反動懸念等、依然として先行きは不透明な状況にあります。

カーアフターマーケットにおきましては、そのような状況の中で消費に力強さも見え始め、今後は回復傾向に向かうことが予想されますが、その一方でユーザーの価値観の多様化に適合し、さらなる付加価値の向上を図った製品やサービスの提供が不可欠になることが考えられます。

このような中、当社グループといたしましては、新製品の「MONO SPORT」を始めとしたショックアブソーバー製品群の充実を図るとともに、国内外を対象とした広範囲な営業活動をさらに強化していくことは元より、世界各国の様々なユーザーニーズに対応する製品の企画開発に注力し、需要喚起に向けた新たな付加価値の提案と技術開発体制の拡充、海外での新工場の稼働によるフレキシブルな生産体制の一層の進化と全社的なコストダウン、また品質向上などを推し進めることで、新たな成長を目指すとともに収益改善を図ってまいります。

次期の連結業績見通しにつきましては、売上高3,486百万円、経常利益216百万円、当期純利益151百万円を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債および純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度に比べ1,754百万円増加し、5,038百万円となりました。なお、現金及び預金は、前連結会計年度末に比べ977百万円増加し、1,560百万円となりました。これは主として、長期借入れによる収入によるものであります。

当連結会計年度末における負債合計は、1,568百万円増加し、2,366百万円となりました。これは主として、長期借入金の増加によるものであります。

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度に比べ185百万円増加し、2,671百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ977百万円増加し、1,560百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローでは、当連結会計年度において営業活動の結果取得した資金は202百万円（前連結会計年度165百万円の取得）となりました。これは主として税金等調整前当期純利益179百万円、減価償却費80百万円、為替差益105百万円、売上債権の増加額69百万円、たな卸資産の減少額64百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローでは、当連結会計年度において投資活動の結果支出した資金は776百万円（前連結会計年度1,262百万円の支出）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出763百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローでは、当連結会計年度において財務活動の結果取得した資金は1,449百万円（前連結会計年度0百万円の支出）となりました。これは長期借入による収入1,480百万円、配当金の支払いによる支出30百万円によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期
自己資本比率	76.3	76.4	76.1	75.7	53.0
時価ベースの自己資本比率	36.5	31.6	37.3	63.2	31.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.0	0.0	0.0	0.0	7.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ	0.0	0.0	0.0	0.0	140.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注4）有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、収益力の向上を図り、株主の皆様へ利益還元をすることが経営の最重要課題の一つであると考えております。利益配分については年1回期末に配分することとし、各期の連結業績、配当性向および内部留保等を総合的に勘案した上で、継続的かつ安定的な配当をおこなうことを基本方針としております。

なお、内部留保資金につきましては、健全な財務体質の維持を図るとともに競争力強化のための研究開発、また生産性向上を図るための設備投資など、将来の事業展開に役立ててまいりる所存であります。

この基本方針に基づき、当期の期末配当金は12円を予定しております。

また、次期の1株当たり期末配当金は15円を予定しております。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針、中長期的な会社の経営戦略

平成25年3月期決算短信（平成25年5月15日開示）により開示をおこなった内容から重要な変更がないため開示を省略しております。

当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

（当社ホームページ）

<http://www.tein.co.jp/>

(2) 目標とする経営指標

当社グループが目標とする経営指標は、事業効率を重視する観点から基本経営方針の一つにも掲げております「ROA（総資産利益率）の重視」であります。その経営指標に基づき、最小の資産（特に営業資産についてを重視しております。）で最大の利益を出す効率性の高い経営を目指してまいる所存であります。しかしながら、この指標は達成を目指すといった性質のものではなく、日常的な経営活動における効率向上を社内に周知徹底するための方法として位置付けております。

(3) 会社の対処すべき課題

当社グループを取り巻く経営環境は、急激な為替の変動、特に国内では原油価格の高騰や電気料金の値上げに伴う原価の上昇、また消費税率引上げ後の需要動向の変動など、先行きの不透明感が払拭できない状況の中で依然として予断を許さない経営環境が続くものと考えられます。

このような経営環境に対して当社グループでは相互に緊密に連携しながら、中長期的な会社の経営戦略に基づき次の4つの事業戦略を進めてまいる所存であります。

戦略1 高付加価値製品の開発とラインアップの多様化

最先端のモータースポーツフィールドからフィードバックした高付加価値の製品の開発と市販化と合わせ、世界各国の様々なユーザーニーズに対応するラインアップの多様化。

戦略2 海外市場の拡大

海外事業部の拡充ならびに海外子会社を活用した積極的なグローバル展開の推進。

戦略3 コスト削減の推進

国内外での新たな生産拠点の稼動開始による生産効率の一層の向上、また変化する需要に対応するフレキシビリティを追求した生産体制の整備。

戦略4 品質の向上

耐久性・信頼性評価レベルの向上と購買品の品質保証体制の強化による世界基準の品質の確立。

(4) その他、会社の経営上重要な事項

該当事項はありません。

3. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	583,841	1,560,917
売掛金	330,218	405,693
商品及び製品	514,116	450,634
原材料及び貯蔵品	115,811	142,520
繰延税金資産	17,711	71,381
その他	92,954	103,894
流動資産合計	1,654,653	2,735,042
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	49,273	589,427
機械装置及び運搬具(純額)	147,228	190,423
土地	1,070,533	1,070,533
建設仮勘定	117,520	186,408
その他	16,463	30,138
有形固定資産合計	1,401,019	2,066,930
無形固定資産		
投資その他の資産	11,055	5,604
その他	219,143	231,086
貸倒引当金	△1,245	—
投資その他の資産合計	217,897	231,086
固定資産合計	1,629,972	2,303,621
資産合計	3,284,626	5,038,664
負債の部		
流動負債		
買掛金	184,874	236,254
その他	242,871	277,840
流動負債合計	427,745	514,095
固定負債		
長期借入金	—	1,463,320
退職給付引当金	149,544	—
役員退職慰労引当金	169,803	179,853
退職給付に係る負債	—	159,310
その他	50,850	50,100
固定負債合計	370,198	1,852,583
負債合計	797,943	2,366,678
純資産の部		
株主資本		
資本金	217,556	217,556
資本剰余金	215,746	215,746
利益剰余金	2,609,792	2,772,349
自己株式	△473,429	△473,429
株主資本合計	2,569,665	2,732,222
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△82,983	△60,236
その他の包括利益累計額合計	△82,983	△60,236
純資産合計	2,486,682	2,671,985
負債純資産合計	3,284,626	5,038,664

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	2,769,759	3,249,205
売上原価	1,726,780	1,951,285
売上総利益	1,042,978	1,297,919
販売費及び一般管理費	1,046,778	1,123,912
営業利益又は営業損失(△)	△3,799	174,007
営業外収益		
為替差益	12,910	38,161
受取手数料	10,500	13,027
その他	26,310	20,982
営業外収益合計	49,721	72,171
営業外費用		
支払利息	—	1,330
支払手数料	231	—
売電費用	—	518
その他	0	36
営業外費用合計	231	1,884
経常利益又は経常損失(△)	45,690	244,294
特別利益		
固定資産売却益	2,522	1,471
特別利益合計	2,522	1,471
特別損失		
固定資産売却損	1,085	—
固定資産除却損	406	33,915
本社移転費用	—	32,321
特別損失合計	1,491	66,237
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	46,720	179,528
法人税、住民税及び事業税	14,066	38,080
法人税等調整額	△1,326	△52,270
法人税等合計	12,739	△14,190
少数株主損益調整前当期純利益又は少数株主損益調整前当期純損失(△)	33,980	193,719
当期純利益又は当期純損失(△)	33,980	193,719

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益又は少数株主損益調整前当期純損失(△)	33,980	193,719
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	37,566	22,746
その他の包括利益合計	37,566	22,746
包括利益	71,547	216,466
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	71,547	216,466

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	217,556	215,746	2,575,811	△473,429	2,535,684
当期変動額					
剰余金の配当					
当期純利益又は当期純損失(△)			33,980		33,980
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	33,980	—	33,980
当期末残高	217,556	215,746	2,609,792	△473,429	2,569,665

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△120,549	△120,549	2,415,135
当期変動額			
剰余金の配当			
当期純利益又は当期純損失(△)			33,980
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	37,566	37,566	37,566
当期変動額合計	37,566	37,566	71,547
当期末残高	△82,983	△82,983	2,486,682

当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	217,556	215,746	2,609,792	△473,429	2,569,665
当期変動額					
剰余金の配当			△31,162		△31,162
当期純利益又は当期純損失 (△)			193,719		193,719
株主資本以外の項目の当期 変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	162,556	—	162,556
当期末残高	217,556	215,746	2,772,349	△473,429	2,732,222

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	△82,983	△82,983	2,486,682
当期変動額			
剰余金の配当			△31,162
当期純利益又は当期純損失 (△)			193,719
株主資本以外の項目の当期 変動額 (純額)	22,746	22,746	22,746
当期変動額合計	22,746	22,746	185,303
当期末残高	△60,236	△60,236	2,671,985

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	46,720	179,528
減価償却費	72,115	80,380
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,050	10,050
為替差損益(△は益)	△18,566	△105,894
固定資産除却損	264	33,915
移転費用	—	32,321
売上債権の増減額(△は増加)	△1,524	△69,519
たな卸資産の増減額(△は増加)	59,207	64,486
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,417	42,337
その他	△3,779	△10,659
小計	163,070	256,946
法人税等の支払額	△357	△21,048
法人税等の還付額	1,940	176
移転費用の支払額	—	△32,321
その他	869	△1,131
営業活動によるキャッシュ・フロー	165,523	202,620
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,257,943	△763,956
敷金及び保証金の回収による収入	1,239	22,927
保険積立金の積立による支出	△10,530	△10,530
長期前払費用の取得による支出	△10,722	△32,519
その他	15,202	7,751
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,262,753	△776,327
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	1,480,000
配当金の支払額	△0	△30,980
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	1,449,019
現金及び現金同等物に係る換算差額	29,272	101,762
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,067,958	977,075
現金及び現金同等物の期首残高	1,651,800	583,841
現金及び現金同等物の期末残高	583,841	1,560,917

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)、当連結会計年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

当社グループは、自動車用サスペンションの製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

1 製品およびサービスごとの情報

当社グループは、自動車用サスペンションの製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	米国	その他	計
1,723,721	522,608	523,429	2,769,759

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国ごとに分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称または氏名	売上高	関連するセグメント名
㈱タカマコンペティションプロダクト	437,243	自動車用サスペンションの製造・販売事業
㈱オートボックスセブン	287,597	自動車用サスペンションの製造・販売事業
㈱ホットスタッフコーポレーション	282,969	自動車用サスペンションの製造・販売事業

当連結会計年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

1 製品およびサービスごとの情報

当社グループは、自動車用サスペンションの製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	米国	その他	計
1,922,470	639,487	687,248	3,249,205

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国ごとに分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称または氏名	売上高	関連するセグメント名
(株)タカマコンペティションプロダクト	474,641	自動車用サスペンションの製造・販売事業
(株)オートボックスセブン	351,097	自動車用サスペンションの製造・販売事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）、当連結会計年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）、当連結会計年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）、当連結会計年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	
1株当たり純資産額	478.77円	1株当たり純資産額	514.45円
1株当たり当期純利益金額	6.54円	1株当たり当期純利益金額	37.29円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2 1株当たり当期純利益金額または1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
当期純利益金額または当期純損失金額(△) (千円)	33,980	193,719
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額または当期純損失金額(△) (千円)	33,980	193,719
普通株式の期中平均株式数 (株)	5,193,800	5,193,800

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

該当事項はありません。

(2) その他

該当事項はありません。